

5-2 地域別行動指針

(1) 地域区分の考え方

地域別の市の行動指針を整理するにあたり、本市の自然的条件や、市内を流れる天竜川の上流部と下流部、中山間地域と都市地域など社会的条件の違いを考慮して、社会経済特性や生活環境、自然環境、快適環境が共通する地域区分として、図5-1に示す都市・臨海地域、里山・湖岸地域、中山間地域の3地域に区分しました。

この地域区分の考え方は、第1次浜松市総合計画の都市経営戦略に示すゾーニングの考え方と対応させています。なお、それぞれの3地域は明確に境界線で区分されるという考え方ではなく、その境界域は重なり合ったものとなります。表5-1に3地域の概要を示します。

《地域区分と都市経営戦略に示すゾーニングとの関係》

地域区分	第1次浜松市総合計画の 都市経営戦略のゾーニング
都市・臨海地域	都市機能集積ゾーン
里山・湖岸地域	産業・観光振興ゾーン
中山間地域	森林活用・保全ゾーン

表5-1 地域区分の概要

面積、構成比率、人口、世帯数、人口密度は主な区のデータにもとづいています。

地域区分	都市・臨海 地域	里山・湖岸 地域	中山間地域
主な区	中、東、 南、浜北区	西、北区	天竜区
面積	204km ²	363km ²	944km ²
*1 構成 比率			
農地	28.9%	34.8%	4.2%
宅地	36.5%	11.3%	1.3%
池沼	0.0%	1.5%	0.4%
山林・原野	3.7%	37.6%	74.5%
その他	30.8%	14.8%	19.6%
人口*2	560,776人	205,736人	37,520人
世帯数*2	210,371世帯	66,450世帯	12,700世帯
人口密度	2,749人/km ²	566人/km ²	40人/km ²
平均気温*3	16.4℃	—*4	14.8℃
降水量*3	1,829mm	2,003mm	2,093mm
測定地	①浜松特別地 域気象観測所	②三ヶ日地域 気象観測所	③佐久間地域 気象観測所

*1：法務局に登録されている面積の比率です。

*2：国勢調査（総務省）平成17年10月1日

*3：平均気温、降水量は平成18年（1月～12月）の値です。

*4：三ヶ日地域気象観測所では気温は未測定です。

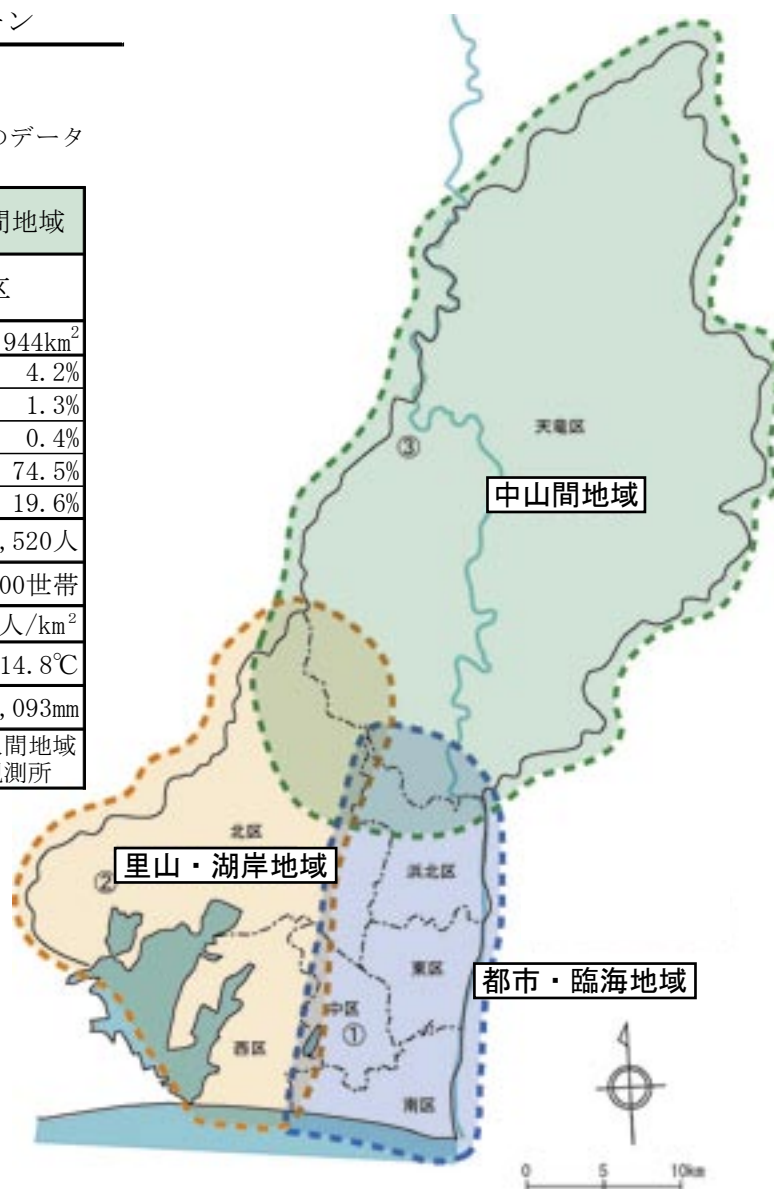


図5-1 地域区分

- ①：浜松特別地域気象観測所
- ②：三ヶ日地域気象観測所
- ③：佐久間地域気象観測所

(2) 地域別行動指針

1 都市・臨海地域の行動指針

[地域の概況]

- 都市・臨海地域は、天竜川の扇状地が隆起して形成された三方原台地、天竜川の氾らんと土砂の堆積作用によって形成された平地、そして天竜川が運んだ土砂と海からの風・潮の作用により形成された砂丘・低地から構成されています。
- 古来より、東海道・姫街道を軸とした東西交通と秋葉街道・水運による南北交通の交わる交通の要衝として栄え、その恵まれた交通条件のもと、工業都市としての発展を牽引してきた地域でもあります。
- 業務・商業施設が集積した中心市街地を中心に、その周囲に住宅地や工場、自衛隊基地が存在しています。周辺部には田畑も残っており、斜面地を中心に林地も点在しています。
- 本市の人口と企業の大半はこの地域の市街地に集中していますが、中心市街地よりもむしろその周辺部における人口増加が顕著であり、市街地が分散する傾向がうかがえます。
- 人口や業務・商業施設、工場などが集積する市街地では、自動車交通公害や河川の水質汚濁に代表される都市型の生活環境汚染が大きな問題となっています。
- 市の南部に位置する臨海地域は、天竜川水系、馬込川水系の下流域に位置し、本市を代表する環境資源である天竜川、遠州灘の水辺環境に近接する地域です。とくに、遠州灘沿岸は全国でも有数の長大な砂浜海岸となっています。
- こうした豊かな水辺空間を持つ臨海地域は、生物相が豊かな地域であり、貴重な海浜植物や鳥類・魚介類の生息地となっています。

[地域住民の意向] (平成17年度アンケート調査結果より)

- 居住地域周辺の環境に対する評価では、市街地の中心部（旧浜松市中央）を除くと、「日当たりの良さ」の満足度が非常に高く、概ね7割から8割程度の割合を示しています。
- 市街地の中心部（旧浜松市中央）では、「日当たりの良さ」に対する満足度は57%と低く、「土地の豊かさ」とふれあい、「自然林や田畑の緑の豊かさ」、「川、湖、海などの水とのふれあい」といった項目でも満足度が相対的に低い傾向があります。
- 市の南部に広がる地域（旧浜松市南部）では、流域の最下流部のため、「近くの川、水路などの水のきれいさ」について「不満・やや不満」が57%を占め、評価が低くなっています。

[主な環境資源]

区分	主な環境資源（代表例）
自然・景勝地	遠州灘、椎ノ木谷、中田島砂丘
動植物	アカウミガメの産卵、馬込川河口の野鳥、天竜川河口のコアジサシ、北浜の大カヤノキ、姫街道の松並木、雲立のクス、法橋のマツ、御陣屋川の桜並木、クロマツ防潮林、海浜植物（ハマヒルガオなど）
伝統文化・史跡	遠州大念仏、浜松城跡、犀ヶ崖古戦場、蜷塚遺跡、赤門上古墳
観光・レクリエーション地	太平洋自転車道、県立森林公園（バードピア浜北）、明神池運動公園、万葉の森公園、美蘭中央公園、半田緑地、有玉緑地、馬込川上島公園、四ツ池公園、浜松城公園、天竜川緑地、飯田公園、遠州灘海浜公園
催事・イベント	浜松まつり、農林水産まつり、浜松ゆかたまつり、バイクのふるさと浜松、浜松夢づくりフェスタ、はままつ冬の螢フェスタ、エア・フェスタ浜松、虚空蔵様とだるま市、浜北植木まつり、遠州はまきた飛竜まつり、浜北万葉まつり、浜北産業祭

[主な課題]

- 無秩序な市街地の広がりを抑制し、都市の成長と環境の保全を両立させる持続可能な市街

地形成を計画的に誘導していくことが必要です。

- 中心市街地には都市機能が集積し、大量の資源・エネルギーが消費されています。環境への負荷の少ない都市づくりを行うことが求められています。
- 自動車交通への依存度が高いため、大気汚染、騒音公害などの自動車交通公害に対しては早急に対応することが求められています。また、生活排水対策を中心とした水質汚濁対策を講じることも緊急の課題となっています。
- 市街地の拡大により緑は減少しています。新たな緑を増やしていくことも課題です。
- 天竜川、遠州灘周辺の優れた水辺環境を本市の大切な自然環境、快適環境として守り育てていく必要があります。
- 天竜川は多数の支川を持ち、市の上流域から下流域を流下しています。流域の健全な水循環を実現するための取組が求められています。
- 遠州灘海岸は、アカウミガメの産卵地としても有名ですが、砂浜の侵食が顕著となり、海岸の保全対策が緊急の課題となっています。

〔行動指針〕

1. 環境負荷の少ない都市形成

- 都市機能が高度に集中する市街地にあっては、地域熱供給システム、コージェネレーションシステム（熱電併給システム）などの導入や都市排熱の有効利用、建築物の壁面・屋上緑化などを促します。
- 中心市街地の活性化対策の一環として、歩いて楽しめるまちづくりを推進します。
- 周辺部の市街地にあっては、日常の生活に必要な諸機能がコンパクトに集積するような拠点形成を誘導します。

2. 公共交通対策などの推進

- 交通公害低減システムの活用、交通需要マネジメント^(*)（TDM）の実施などにより、自動車の渋滞解消を進めます。あわせて、バス運行システムの見直し（ミニバスターミナル構想の推進）など、総合的な公共交通対策を推進します。
- 道路の高機能舗装の実施、植栽帯の設置など、騒音緩和対策を推進します。

3. 水質汚濁対策の推進

- 下水道整備及び合併処理浄化槽の設置、雨水浸透ますの設置などに取り組むとともに、川や湖をきれいにする運動、環境美化活動などを積極的に進めます。

4. 水と緑の再生とネットワーク

- 椎ノ木谷などの新川流域の斜面林、三方原台地と平野部の境に残された緑地の保全に取り組みます。また、良好な一団の農地などの緑地の保全にも取り組みます。
- 市街地において豊かな自然環境を再生するため、水質浄化対策の推進とあわせて、小河川などの水辺を保全し、美しい水系を取り戻すための取組を展開します。また、公園、緑地、樹林・樹木など、新たな緑を増やす取組についても積極的に展開し、水辺と緑が有機的につながる水と緑のネットワークの形成を推進します。

5. 豊かな水辺空間の保全と創造

- 天竜川、馬込川、遠州灘をはじめとした水辺空間を保全します。
- 三方原台地と平野部の境に点在する貴重な湧水を保全します。
- 貴重な動植物の生息域となっている場所では、保護対策を図るなどして、豊かな自然環境の保全・再生を目指します。
- 親水公園として天竜川緑地などの活用を図ります。また、市街地を流れる中小河川においても多自然な川づくりを進め、水辺と親しめる空間整備を推進します。
- 遠州灘海岸については、アカウミガメの産卵地としての環境保全を進めます。
- 遠州灘の海岸侵食問題については、抜本的な対策を講じるために調査・研究活動を行います。また、市の天竜川上流部と協調して取り組んでいく必要があることから、上流部と連携した自然環境保全のための諸活動を展開し、相互の理解を深めていきます。

2 里山・湖岸地域の行動指針

〔地域の概況〕

- 里山・湖岸地域は、概ね浜名湖に流れる都田川の水系に属する地域で、中山間地域の南に広がる山地・丘陵地と都田川水系の河川がつくり出した谷底平野で構成されています。
- 丘陵地は比較的緩やかで山麓の台地には、斜面を利用した果樹園（みかん園）が広がり、平野には水田と宅地がみられます。山林は人工林が主で二次林が混在しています。
- 近年になって人口が減少傾向へと転じています。都市・臨海地域に近いところでは、住宅団地や工業団地などの都市的な土地利用の進展が見られますが、農地や森林・林地も混在し、美しい田園景観や里山の環境が住宅地や集落の近くにまだまだ残されています。
- 都市地域に隣接するこれらの自然環境は、都市住民にとっては非常に身近な自然地といえ、自然保護と利用の両面で、その活用が期待される地域となっています。
- 一方、浜名湖周辺の一帯は、温暖な気候と浜名湖がもたらす恵みのもとで、古代より人間社会が発達し、近世になって東海道が東西交通の大動脈となったこともあって、歴史的遺産が豊富で、また農業・漁業をはじめとした産業が大きく発展したところです。
- 入り組んだ浜名湖の地形がつくり出す景観は美しく、本市の主要な観光地として様々な拠点施設が多数立地しています。
- 市の中心部に近い佐鳴湖は、水量が多く自然も豊かなため、身近な自然として市民に親しまれている一方、湖沼水質全国ワースト1という状況にあります。
- 浜名湖のノリ、カキ、ウナギの養殖や、遠州灘で獲れるトラフグ、なだらかな斜面を利用したみかん栽培は、本市を代表する地域産業となっています。近年では、浜名湖東岸地域を中心とした花卉栽培が盛んで、美しい景観を背景に発展した観光産業とともに、個性的な産業が展開されています。

〔地域住民の意向〕（平成17年度アンケート調査結果より）

- 居住地域周辺の環境に対する評価では、細江、引佐、三ヶ日において、「自然の恵み」、「空気のさわやかさ」についての満足度が概ね8割と高く、舞阪、雄踏、旧浜松市北部・西部においても「自然の恵み」に対する評価は比較的高くなっています。
- 細江、引佐、三ヶ日では、「自然林や田畑の緑の豊かさ」の満足度が概ね7割程度と他地域と比べかなり高い割合を示しているのが特徴で、旧浜松市北部・西部でも比較的高い割合を示しています。

〔主な環境資源〕

区分	主な環境資源（代表例）
自然・景勝地	観音山、三岳山、竜ヶ石山、富幕山、尉ヶ峰、奥山高原、大草山、都田川、都田ダム（いなさ湖）、浜名湖、猪鼻湖、佐鳴湖、久留女木の棚田、兔荷の棚田、龍潭寺庭園、長楽寺庭園、大福寺庭園、摩訶耶寺庭園、乎那の峰、鷺沢風穴、仙巖の滝
動植物	いかり瀬のコアジサシ、渡り鳥の飛来地（カモ類）、ギフチョウ、都田川河口のヒヌマイトトンボ、シブカワツツジ群落、天台烏薬群落地、鶴代のマンサク群落、本坂のつばき原生林、三方原の防風林、都田川桜堤、旧東海道松並木、いかり瀬の海浜植物群落
伝統文化・史跡	寺野のひよんどり、川名のひよんどり、滝沢の放歌踊り、横尾歌舞伎、呉松の大念仏、雄踏歌舞伎、三岳城跡、只木遺跡、千頭峯城跡、三方原古戦場、陣座ヶ谷古墳、渭伊神社境内遺跡、滝峯才四郎谷遺跡、姫街道、気賀関所、舞阪宿脇本陣、息神社例祭、奥山半僧防火まつり、井伊谷宮大祭、細江神社祇園まつり、三ヶ日まつり、館山寺火まつり
観光・レクリエーション地	奥浜名田園空間博物館、奥浜名オレンジロード、浜名湖周遊自転車道、浜名湖遊覧船、竜ヶ岩洞、館山寺温泉、弁天島温泉、ゆうとう温泉、三ヶ日温泉、弁天島温泉、みかん狩り、たきや漁、養鰻、潮干狩り、てんてんゴーしぶ川、浜松市かわな野外活動センター、

	浜名湖体験学習施設ウォット、渋川つつじ公園、三ヶ日高山ふれあいの森、天池自然公園、滝沢展望台、都田総合公園、荒巻川ホテル公園、伊左地緑地、佐鳴湖公園、佐鳴湖漕艇場、西之谷公園、舞阪町民の森、弁天島海浜公園、渚園、フルーツパーク、浜名湖ガーデンパーク、館山寺総合公園（フラワーパーク、動物園）
催事・イベント	引佐あじさいまつり、渋川つつじまつり、いなさ人形劇まつり、いなさほおずき市、姫様道中、気賀関所祭り、ゆかた祭り（細江）、大太鼓まつり、みかんの里まつり、うなぎまつり、渚園フェスティバル、えんばい朝市、浜名湖サイクル・ツーリング チャリ・DE・浜名湖、浜名湖一周駅伝、弁天島海開き花火大会、かんざんじ温泉灯籠流し花火大会、三ヶ日花火大会

【主な課題】

- 都市・臨海地域に近接する里山・湖岸地域は、美しい田園景観が残されているとともに、豊かな里山が集落の近くに残されています。これら身近な緑を保全して、快適性を高めるとともに、野生生物と人が共存する空間を創造していくことが求められています。
- かんきつ類など果樹を中心とした農業がさかんで、畑地の面積が大きいことが特徴です。これらの農地を環境資源として有効に活かしていくことが求められています。
- 豊かな田園空間の形成を誘導するとともに、市街地の形成については、周辺の農地・里山との調和を図る必要があります。
- 浜名湖や佐鳴湖は優れた水辺環境であり、美しい景観を形成しています。また、野生生物の生息域としても貴重な存在です。これらの自然環境を守り育てていく必要があります。
- 浜名湖では閉鎖性が強い水域での水質浄化が大きな課題です。沿岸域の重要な産業である観光や水産業にも大きな影響を及ぼすことから、早急な改善が求められています。また、湖沼水質全国ワースト1である佐鳴湖の水質改善も緊急な対策が必要です。

【行動指針】

1. 身近な里山・水辺の緑の保全・回復

- 身近な自然環境についての理解を深めるため、市民が里山や水辺にふれあう機会・場としての環境教育・学習プログラムを企画し実践します。
- 市街地の拡大とともに失われている市街地近郊の里山や水辺を保全するため、公園・緑地としての整備、市民の森の指定などといった取組を展開します。
- 市・市民・事業者などの協働により、これらの身近な里山や水辺などの自然環境を保全・回復するための活動を盛り上げます。またこれを推進するための新たなしくみを構築します。

2. 美しく環境にやさしい農地の形成

- 全国ブランドとして知られている三ヶ日みかんや細江のネーブルなど果樹を中心とする農地（農園）は、山の斜面部一帯に広がり、本市を象徴する景観の一つとなっていることから、遊休農地の活用を促進するなど、美しい農的景観の保全・育成を進めます。
- 農業体験や直売施設を拡充し、市民と農業生産者との交流を深め、地産地消を推進します。
- エコファーマー制度^(*)の普及を進めるほか、樹園地特有の傾斜地農地における耕作土流出防止対策を徹底し、環境保全型農業の普及を図ります。

3. 豊かな水辺空間の保全と創造

- 浜名湖、佐鳴湖、都田川をはじめとした水辺空間を保全します。
- 浜名湖内湾でもとくに閉鎖性が強い水域では、水質についての調査を実施することで効果的な対策を推進します。
- 佐鳴湖では、湖沼水質全国ワースト1からの脱却を目指して効果的な対策を推進します。
- 貴重な動植物の生息域となっている場所では、保護対策を図るなどして、豊かな自然環境の保全・再生を目指します。
- 遠州灘海岸については、アカウミガメの産卵地としての環境保全を進めます。

4. 市街地の適正誘導と生活拠点形成

- 市街地形成については計画的な土地利用を推進し、周辺の農地や里山と調和を図ります。
- 無秩序な市街地の拡張を抑制しつつ、日常の生活に必要な諸機能がコンパクトに集積するような拠点の形成を誘導します。

3 中山間地域の行動指針

[地域の概況]

- 中山間地域は、面積の多くを森林が占め、起伏に富んだ地形をしています。日本有数の流域面積・流量を有する天竜川が流れ、昔から山地の風化や侵食による斜面崩壊、豪雨による洪水といった自然災害を繰り返し経験してきた歴史があります。
- 古くから林業と農業に依存するところが大きく、近年の若年層の都市部への流出に伴う過疎化と高齢化が大きな問題となっています。その結果、森林や農地の管理が十分にできず森林や農地の公益的機能の低下が懸念されています。
- 天竜美林に代表される豊かな森林環境をはじめとして、清らかな水辺、貴重な動植物などの豊かな自然環境が残されており、また、人々の暮らしの中には自然と調和した生活様式が根付いています。
- 歴史的には、奥三河や南信濃との関わりが深く、秋葉信仰や山住信仰をはじめ、天竜川はぐくんだ共通の民俗芸能や生活文化が各所に存在しています。
- 豊かで多様な自然環境が残されていることに加えて、都市地域に近いという地理的条件から、都市近郊型の観光・レクリエーション地としての役割を担う地域となっています。

[地域住民の意向]（平成17年度アンケート調査結果より）

- 居住地域周辺の環境に対する評価では、「自然の恵み」、「空気のさわやかさ」についての満足度が概ね8割と高く、「自動車による空気の汚れやうるささの少なさ」、「臭い（悪臭）がなく、季節の香りが感じられる」といった項目の満足度も概ね7割程度を示しています。このほかでは、「鳥や昆虫とのふれあい」、「川、湖、海など水とのふれあい」といった項目で概ね6割程度と比較的高い満足度を示しています。しかし、「日当たりの良さ」では、相対的に満足度は低くなっています。

[主な環境資源]

区分	主な環境資源（代表例）
自然・景勝地	中ノ尾根山、黒法師岳、常光寺山、竜頭山、秋葉山、春埜山、白倉山、光明山、青崩峠、天竜川、水窪ダム（水窪湖）、船明ダム（船明ダム湖）、佐久間ダム（佐久間湖）、秋葉ダム（秋葉湖）、池の平幻の池、新宮池、山王峡、明神峡、白倉峡、大入川溪谷、たっくい淵、機織淵、布滝、不動の滝、樽山の滝、男滝・女滝、青谷不動の滝、竜頭の湧水、カタクリの里、瀬尻の段々茶畑、大栗安の棚田、ホウジ峠の中央構造線、青谷鍾乳洞
動植物	カモシカ、ニホンザル、ニホンジカ、ニホンイノシシ、ツキノワグマ、ギフチョウ、アユ、アマゴ、ヤマメ 水窪小学校のイチイガシ、山住神社のスギ、京丸のアカヤシオ及びシロヤシオの群生地、佐久間のヒムロ、竜山・浦川のホソバシヤクナゲ群落、春埜スギ、柴のタブノキ、米沢諏訪神社のイチイガシ、将軍スギ、瀬尻学術参考保護林
伝統文化・史跡	西浦の念仏踊、西浦の田楽、川合・峯・今田の花の舞、懐山のおくない、浦川歌舞伎、勝坂神楽、山住神社の大祭、秋葉の火祭り、秋葉古道、高根城址、犬居城跡、二俣城址、光明山遺跡、光明山古墳
観光・レクリエーション地	スーパー林道天竜線、東海自然歩道、カモシカと森の体験館、野鳥の森、天竜の森、天竜光明の森、天竜市民の森、くんま水車の里、上野ふれあいの森、湖畔の森、天竜ボート場、気田川（カヌー）、天竜舟下り、藤ノ瀬ホテル公園、鳥羽山公園、佐久間レールパーク、さくま電力館、天竜浜名湖鉄道
催事・イベント	みさくぼ祭、峠の国盗り綱引き合戦、天竜産業観光まつり、フェスタさくま、ほっとぴあ龍山産業祭、はるの産業まつり、駅伝大会、全国高校選抜ボート大会、BEGIN THE 美林！天竜サイクル・ツーリズム、鹿島花火大会

【主な課題】

- 本地域にある豊富な森林資源を保全し、同時に活用していくことが必要です。
- 少子高齢化の進展が最も顕著で、若者定住とそのため産業振興が求められています。
- 豊かな自然環境と調和した暮らしが根付いており、これらの暮らしの文化を環境共生都市の形成に有効に活かしていくことが必要です。

【行動指針】**1. 森林を中心とした豊かな自然環境の維持・増進**

- 本地域の大部分を占める森林は、水源地であるとともに、二酸化炭素の吸収源でもあり、かけがえのない環境資源です。より良い環境を創造するためには、こうした森林の公益的機能を維持・増進していくことが不可欠です。したがって、人工林の保全・管理や、林業再生に向けた取組を積極的に推進します。
- 貴重な動植物が数多く生息している森林などでは、貴重な自然環境を将来にわたって保全するため、動植物の実態調査や捕獲の禁止などといった環境保全対策を図ります。その一方で、農林業への鳥獣被害も増加しているため、こうした被害を及ぼす生物について、その実態を調査・研究して、有効な防除・管理対策を講じていきます。
- 大きな森林を抱える市内の天竜川上流部と人口集積が大きい下流部が、ともに森林の役割を理解して、互いに協力しあうことができるよう、森づくりの市民活動を盛り立てていきます。

2. 地域振興に結びつく自然環境・自然資源の有効活用

- 豊かな自然環境・自然資源を活用して、地域の活力向上につながる産業振興が求められています。林業再生に取り組むとともに、木材の需要拡大、森林療法などの新産業の育成に取り組めます。
- 新鮮で安心な食材（農林産物・同加工品など）を生産し、都市部（消費地）へ供給するようなシステムの構築を目指します。
- 消費者が、地域材や地場の食材の生産過程を知る機会を提供することで、相互理解を深め、循環型社会の構築のための取組を促進します。
- 中山間地域への定住促進につながるよう、周辺の豊かな自然環境を活かした企業誘致を推進していきます。

3. 自然と調和した暮らしの実践と継承

- 中山間地域においては、農林業が基幹産業であったことから、自然と暮らしとの関わりが深く、自然と調和して暮らしていくための知恵や技術がまだ残されています。こうした知恵や技術を見直し、また今日的な生活様式にうまく取り入れることで、自然と調和して、かつ環境にやさしい暮らし方を体験・学習するプログラムを用意し、多くの市民に提供するような取組を進めます。

4. 生活排水の浄化

- 中山間地域の集落は森林地帯の水源地に位置するため、生活排水の浄化対策を推進します。